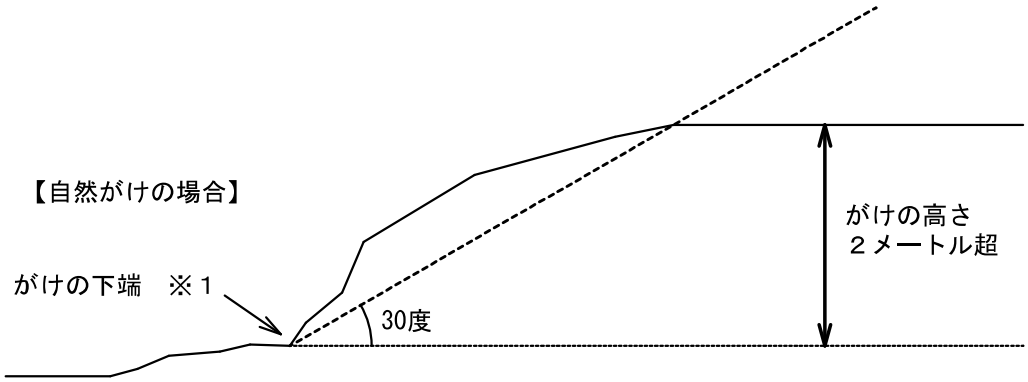
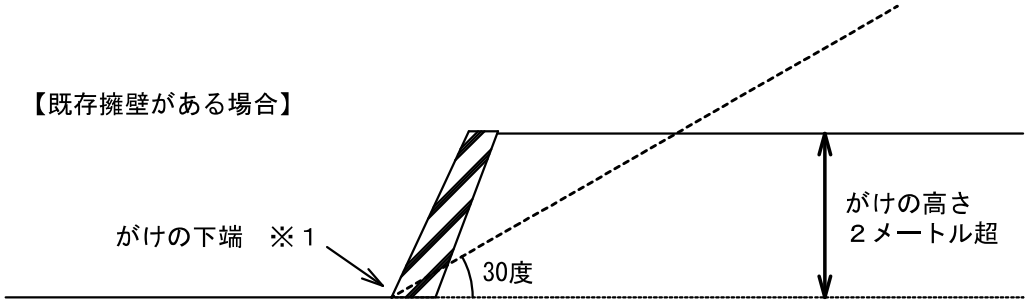
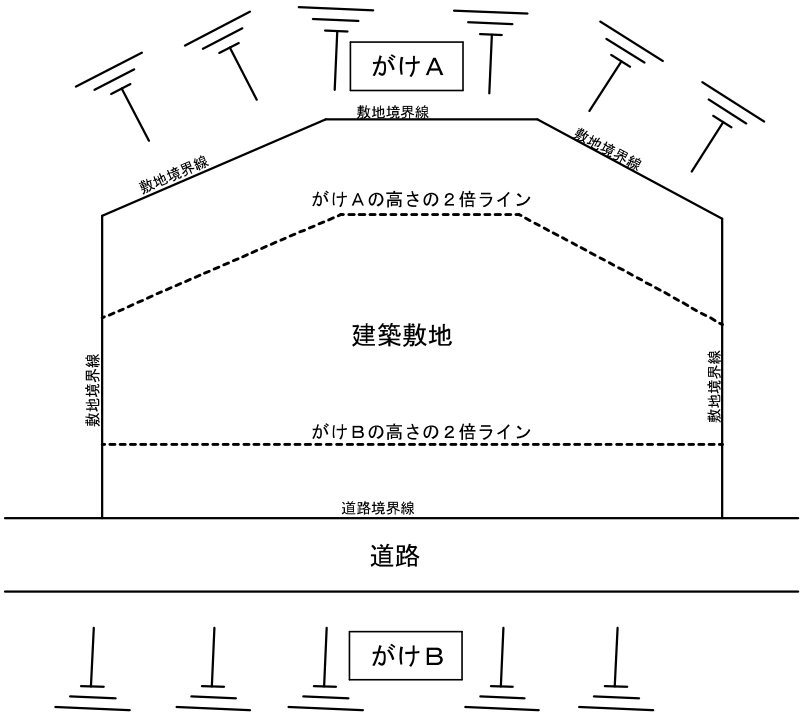
がけ条例の対象となる「がけ」の定義

水平面からのこう配が30度を超え、かつ、高さが２メートルを超えるものであり、
自然がけであるか否か、擁壁の有無、敷地の内外については問わない。



※１）がけの下端は、地表面が水平面に対して30度を超えるはじめての地点とする。



「がけ」が建築敷地外、または道路の反対側にある場合でもがけ条例の検討が必要となる。